

あなたらしく きみらしく



「みんなちがって みんないい」。詩人・金子みすゞさんの言葉です。得意なこと・苦手なこと、それは人それぞれ違います。今回の特集は「あなたらしく きみらしく」。

どの子も個性を活かし、健やかに成長するためのヒントを少しご紹介します。子育て中のすべての方にとって、少しでもお役に立てたら嬉しいです。

《個性ととらえて》

人は誰でも個性や価値観を持って生きています。発達障がい*のお子さんも、もちろん、素晴らしい個性や価値観を持ち、同じ世界を生活しているのです。でも時々、彼らの豊かな世界を理解するのに時間が必要だったり、やりとりする中で工夫が必要だったりすることがあります。

私は臨床心理士として、お子さんたちの行動の背景にある思いや気持ちを、まわりの人に伝えられるような存在になりたいと思っています。そして、一人一人が尊重し合い、誰もが生きやすい世界を広げていくことが必要だと考えています。

普段は、お子さんへ発達検査をしたり、保護者からのご相談をお受けしています。そして検査結果やご相談の内容をもとに、より良い関わり方を一緒に考えさせてもらっています。

「どうしてこんなことをするのか?」「この行動にはどういう意味があるのかな?」少しでも疑問に思ったり、不安に感じるがあれば、いつでもご相談ください。一緒に豊かな世界を理解していきましょう。(※下記参照)



発達支援課 臨床心理士 植村涼子
平成20年度より、いなべ市の発達支援事業に携わる。自らも二児の母として、日々子育てに奮闘している

「大丈夫! それで十分!」

教えて! 園長先生!

子どもたちがより過ごしやすい生活できるように、市では色々な面からサポートしています。今回は、いなべ市保育園長会会長の川瀬紀子園長にお話を伺いました。

Q 誕生から就労までの支援を行う「いなべ市チャイルドサポート事業*」にはどのような役割がありますか? (※下記参照)

子どもの成長、発達に不安をもつお父さんやお母さんにとっては、いつでも相談できるため安心です。相談することで子どもの成長に見通しを持つことができますし、子どもにとっては、自分を理解してもらえることで、やる気や自信につながります。

Q 普段、どのようなときに嬉しかったり、やりがいを感じたりしますか?

毎日様々なことに挑戦し成長している子どもたち。そんな子どもたちが達成でき、笑顔を見せてくれた時にやりがいを感じます。



Q 誰でも得意分野・苦手分野があると思います。苦手分野を上手にカバーするために、保育の中でどのようなことに気をつけていますか?

・子どもが苦手と感じないように、十分褒めて自信につなげています。
・できることよりも、一生懸命頑張っていることを認めてあげます。

Q 子育てに奮闘するお父さんやお母さんに、元気が出るメッセージを!

「誰もが最初は子育ての初心者」「大変なのは私だけじゃない」と思いましょう。まずは悩みを一人で抱えず近くにいる人に相談して。悩んだり困った時には「これを機会に大人は子どもに成長させてもらっているのだなあ」と切り換えてみては。子どもは、お父さん、お母さんが一生懸命に育ててくれていることをわかっていますよ。大丈夫!! 頑張りすぎないでください。



市保育園長会会長
川瀬紀子 園長
根っからの子ども好き。学校で学んだことを活かすため、保育士の道を歩む

※発達障がいって?



生まれつき脳の働き方の個性が強く、“物事のとらえ方”や“行動の仕方”に違いが生じ、日常生活で困難な場面が起きやすいことがわかっています。しつけや育て方の問題ではありません。「この子の得意なこと、苦手なことは何か?」を周囲の大人が理解し、その子が困らないような関わり方をすることで、その子らしく穏やかに生活することができます。



ハピネスファイルでつなぐ想い★

いなべ市では、支援が必要な子どものライフステージが進学などで変わっても、支援を続けやすいように成長の記録を一冊のファイルにまとめています。新しく、学校や医療機関で相談する場合にも経過を共有でき、適切な支援を行うことができます。大安庁舎の窓口で配布している他、市のホームページでも様式をダウンロードできます。



ずっと応援しているよ!

※いなべ市チャイルドサポート事業のご紹介

いなべ市で生まれ育つ子どもを、誕生から就労まで途切れなく支援する事業です。行政の縦割りを超えて、保健・福祉・教育が連携して支援する点が特長で、必要な支援をより早い時期からできるように、色々な事業を行っています。



「こんにちは赤ちゃん訪問」や「どこでも子育て応援団!」は“いなべブランド”であり、全国でも先進的な取り組みとして注目されています。子育てをする中で気になる事や心配なことがあったら、遠慮せず身近な保健師や担任の先生などにご相談ください。



おうちでできる!

子育てアイデア

子育て中のパパ・ママ、み～んな注目!!

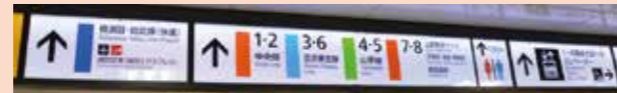


私たちの日常生活には、ユニバーサルデザイン（右記参照）がたくさん存在しています。なかなか気が付かないユニバーサルデザインですが、保育園（所）でたくさん見つけたのでご紹介します。

今すぐ、ご家庭で実践できるアイデアが満載ですので、ぜひお試し下さい。

ユニバーサルデザインって？

年齢や、障がいの有無にかかわらず、すべての人が快適に過ごせる工夫です。例えば、路線案内の色分けは、初めて行く駅でも迷わずに安心して電車に乗れますね。このような、視覚などの手がかりを取り入れた工夫は、誰にとってもわかりやすく、保育園や小中学校でも日常的に取り入れられています。



▲駅構内の案内表示

うがい、上手にできるかな？



手洗い場の天井に、ばいきんの絵が！絵を仰ぐように上を向き、上手なうがいの練習につながります。

スリッパをそろえてね



散らかりやすいスリッパも、置く場所を線で囲うと、きちんと揃えやすくなります。

トイレ、もう怖くないよ

トイレが怖い子も「ゾウさんがいるから大丈夫だよ」の声かけで頑張れます。ゾウさんは、お鼻でトイレットペーパーを切る長さも教えてくれます。



市長コラム

自閉症の僕が跳びはねる理由 いなべ市長 日沖 靖

人と会話することができない重度の自閉症者・東田直樹さんがパソコンや文字盤を使い書き上げた書籍が世界 20 か国以上で出版され、ベストセラーとなっています。普段、彼の口から出る言葉は奇声や雄叫び、意味のない独り言です。しかし、そんな彼からは想像できない表現豊かな文章で綴られています。

少し紹介します。

「じっとしている時も、常に僕の体は、何かに揺り動かされてるような感じがしています。・・・同じ体勢でいると、自分が自分でなくなるような不安にかられるのです。」

「僕は小さい頃、いつも泣いてばかりいました。・・・昔の僕は、出口のない真っ暗なトンネルの中にいるようでした。どんなに困っていたか、悩んでいたか、誰にもわからなかったでしょう。僕の望みは、ただ抱きしめて『大丈夫だよ』と言ってもらうことでした。」

世の中には様々な人がいて、多様性に富んでいます。自分とは違う他人を排斥するのではなく、共感し、受け入れる度量が社会に求められているように感じます。



「跳びはねる思考」著：東田直樹 発行：(株)イーストプレス

パズルみたいなお片付け



おもちゃ箱や棚に写真を貼ることで、中に何をしまおうか一目瞭然。お片付けの練習に役立ちそうですね。

もうすぐ時間だよ



時計に印をつけることで、何をいつまでにするのかが見てわかるようになっています。「長い針が赤いシールのところに行ったらお片付けしようね」というように使います。

お手本があれば大丈夫



ぐちゃぐちゃになりがちなお道具箱の中も、写真のお手本を真似することで整頓しやすくなります。

いなべ市役所（大安庁舎）には、保健師や保育士、小・中学校の教員、臨床心理士など、多くの専門家がいます。子育てで悩んだら、一人で抱え込まず、お気軽にご相談ください。

☎ 発達支援課 ☎ 78-3530

